

2025年開催イベント日程

学校説明会

6/7[±]・7/12[±]

授業体験会

6/7[±]・10/25[±]

聖光祭

9/27[±]-28^日

入試説明会

10/25[±]・11/15[±]・12/6[±]

プレテスト

11/15[±]・12/6[±]

部活動体験会

7/12[±]

寮体験会

宿泊 10/25[±]-26^日 日帰り 11/15[±]

イベント参加お申し込み

すべてのお申し込み、詳細等は静岡聖光学院のホームページからご確認ください。
スマートフォンからのお申し込みも可能です。



アクセス

(シャトルバス)

- JR東静岡駅と本校間に登下校用のシャトルバスを運行、片道乗車10分

(自動車)

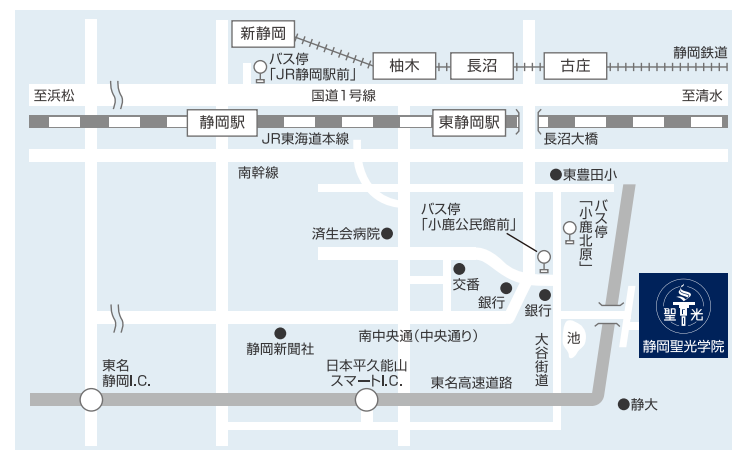
- 東名・日本平久能山スマートICより5分

(バス)

- JR静岡駅北口⑧番より『東大谷』または『静岡大学』行き所要20分 バス停『小鹿公民館前』下車、徒歩15分

(タクシー)

- JR静岡駅南口(新幹線側)より15分
- JR東静岡駅南口より10分



通学

JR在来線/至東静岡までの所要時間 ●自転車通学可



●浜松ー静岡 ひかり20分

シャトルバス運行
7:40-8:35 東静岡駅発

●新横浜ー静岡 ひかり41分
●小田原ー静岡 こだま45分

静岡聖光学院 公式アカウント

各種ソーシャルメディアで多様な情報を発信しています。



公式LINE

イベント・説明会情報をお知らせしています。



公式Facebook

聖光見聞録
定期更新中!



公式Instagram

日々の静岡聖光学院の
情報をお届け!



公式YouTubeチャンネル

オンライン授業や学校施設の紹介など
静岡聖光学院を動画でお届け!

寮のある学校です



静岡聖光学院中学校・高等学校

〒422-8021 静岡県静岡市駿河区小鹿1440

TEL 054-285-9136(代表) FAX 054-283-8668 www.s-seiko.ed.jp



静岡聖光学院中学校・高等学校

Shizuoka Seiko Gakuin

Junior and Senior High School
School Guidebook 2026

どんな未来が
やっても大丈夫。



静岡聖光学院のめざす生徒像

静岡聖光学院では建学以来、自身の個性 (Talent) を大切に、その個性を活かしながら他者・世界に貢献できる生徒を育み続けてきました。その目標とする生徒像が次の4つです。

快活と素朴

ありのままの自分を大切にしながら、生きる目的を見つけ「変化」を楽しむ

思慮深い心

常識・概念・当たり前を問い続けられる姿勢、
他者のものの見方を類推する共感力

探究心に基づく緻密さ

自分の心に火を灯すものと出会い、それを問い、学び、追い求める

真摯な態度

他者のためにひたむきに貢献すること

未来を織り込んだ学びが、 生き方を創造する 力になる

自分たちが生きている時代は果たしてどのような歴史的背景や文化を持ち、世界の仕組みはどうなっているのか。

今を生きる君たちは、その時代の中で、どうやって未来と、人生と向き合っていくのだろうか。

これからやってくる予測不能でめまぐるしく変化する未来には、どんな力が必要なのだろうか。

わたしたち静岡聖光学院が君たちに届けたいのは、「今」だけでなく、ずっと価値を持続ける「未来」を織り込んだ学びです。

外の世界に自分を開き、多くの他者と関わり学ぶ6年間の学校生活。

その中で自分自身のかけがえない価値を見出し、そして育まれるのは、「どんな未来がやってきても大丈夫」と、

主体的に自分の人生を切り拓いていける、生き方を創造する力です。

I N D E X

01 静岡聖光学院の学び	07 授業	23 進路・キャリア	29 寮生活
03 空間×教育プログラム	09 学習支援	25 キリスト教教育	33 メッセージ
05 静岡聖光学院の学びのMAP	11 英語教育	27 部活動・同好会／年間行事	34 沿革・入試日程
	15 STEAM教育		
	19 Project -探究活動-		

空間と教育プログラムが 融合した創造環境



SPACE × PROGRAM

Academiaの精神が息づき、 学ぶ意欲をかき立てる

静岡聖光学院がめざす「未来を織り込んだ学び」は、生徒の可能性を広げる多彩な教育プログラムと、学ぶ楽しさを第一に設計・整備された空間が融合することによって、より良く実現するものと考えています。学ぶ意欲をかき立てる仕掛けがたくさん用意されたプログラムは、空間の持つ機能性によってますます活気づき、また、感性を刺激する空間そのものの存在感が、学ぶ人の創造性を呼び起こします。こうした相乗効果によってAcademiaの精神が息づいた学びの場が創出されます。

固定観念にとらわれない、新たな「教室」のあり方をめざす

主に授業で使用するのは、ホームルーム教室とCreative Labと呼ばれる特別教室です。従来の教室の機能を持ちながらも、固定観念にとらわれず自由な発想が生まれる新しい「教室」のあり方を模索した空間です。

ホームルーム教室



学校生活の大半の時間を過ごす教室は、正面の黒板、整列された机といった従来のスタイルですが、プロジェクターやモニターなどICT環境も整備され、授業内容に合わせてフレキシブルに活用できます。廊下側は壁を取り払ったガラス張りで、明るく透明性の高い開放感のある空間になっています。

Creative Lab 【クリエイティブラボ】



空間の正面が定められていない、自由度の高い、新しい教室のスタイルを実現した空間です。曲線的なデザインのテーブル、キャスターが付いた机や椅子、直接書き込むことができる鮮やかな色の壁といった工夫が、生徒を心身ともにアクティブにさせ、思考を促し議論を活発化させます。

学ぶ楽しさを第一にした空間づくり

思考力、表現力、創造力を喚起し、生徒が学ぶ楽しさを感じられる空間づくりを第一に考え、2018年に大規模なリノベーションを実施しました。クラリティ(透明性)・創造と発信・機能性をコンセプトに、情報の収集・加工・再構築を効率的に行えるだけでなく、仲間とのコミュニケーション・協働を通じた課題解決のプロセスを学ぶことができる、「動」と「静」のバランスがとれた学習生活環境です。

STEAMの拠点 創造の源

BIGIRION-Garage 【ビギリオンガレージ】



社会とつながる発信舞台

Pierre Robert Hall 【ピエールロバートホール】



課題解決の必須ツール
STEAM教育

P.15

人を引き寄せ 想像力を呼び起こす

Seiko Culture Lab 【セイコー カルチャーラボ】

静岡聖光学院のアカデミアとしての空間づくりを象徴する創造的な場の一つです。図書館でありながら、カフェなど商業建築の要素も取り入れた設計で、アイランドテーブルには自然と人が集い、こだわりの壁面のデザインや照明は、探究活動にインスピレーションを与えてくれます。リラックスしながら読書に没頭したり、思索に耽るのにもうってつけの窓際のカウンターテーブルもあり、役割を限定しない多目的な場所になっています。

学ぶ意欲を最大化する
Project -探究活動-

P.19

English Access Lounge 【イングリッシュ・アクセス・ラウンジ】

カラフルな内装の部屋には、コミュニケーションを生み出す可動式の大きなテーブルやクッションが配され、初級～上級レベルの多種多様な英語で書かれた雑誌や書籍がそろっています。外国人数員が在室し、いつでも英会話を実践できることから、まさに英語の世界にアクセスするモチベーションが高まる空間になっています。

実践の英語と国際交流
英語教育

P.11



学びに天井をつくらない 学びとキャリアが結びつく 静岡聖光学院の6年間

静岡聖光学院では、生徒一人ひとりの学びに天井をつくらず、夢を実現するための教育プログラムや学習支援・進路指導体制を整えています。知識定着と基礎学力向上を促すだけでなく、最難関大学や医歯薬獣医学部の受験指導にも対応した学習支援、旺盛な知的好奇心を受け止め育むSTEAM教育や探究活動、海外へ羽ばたきたいという願いをかたちにする英語教育・進学プログラムなど、学びとキャリアが結びついた6年間の教育プログラムがデザインされています。

高校2年～高校3年

入試形態に合わせた受験準備

高校2年次後半からは本格的に受験合理性追究型の学習指導へと移行します。一般入試、AO・推薦入試等、それぞれに合わせた受験指導で、6年間の学びを最後までサポートします。

中学1年～高校2年

キャリア教育も並走

中学1年次から自己理解やチームビルディングなど、キャリアに関する行事や課外活動も実施。自分の興味関心のありかを見つけ、目標の進路を思い描きながら学べる中高一貫ならではのさまざまなプログラムが用意されています。

中学1年～高校3年

6年間の授業と学習支援

基礎学力と論理的思考スキルを育む授業と自律した学習習慣を身につける学習支援が充実。6年間の学びを支えます。

東大をめざしたい！
医学部に行きたい！

最難関国公立大学、
医歯薬獣医学部へ

好きなことを
とことん探究したい！

国公立大学、
難関私立大学へ

まだ見ぬ世界で
学びたい！

海外大学へ

横浜・聖光学院との連携

医学部進学講座

小論文指導など
AO・推薦入試対策

海外大学進学
サポート体制

ケンブリッジ
インターナショナルプログラム

Project -探究活動-

習熟度クラス

STEAM 教育

毎日の授業・朝学習
アダプティブ・ラーニングの活用
放課後学習サポートシステム など

国際交流

英語アカデミックコース

めざす頂上への
ルートはそれぞれ

キャリアキャンプなど
キャリア教育関連行事

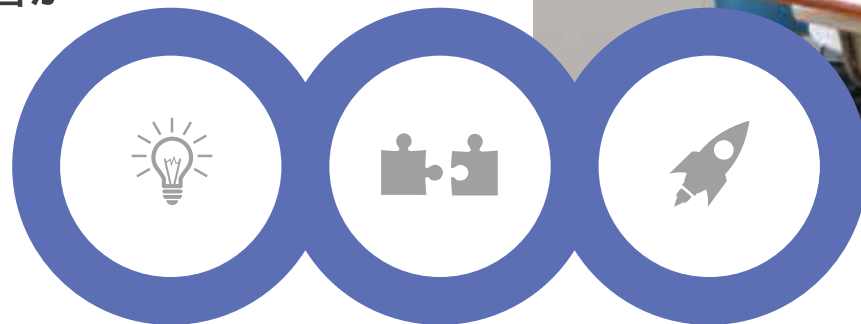
授 業

基礎学力と論理的思考スキルを確立 学びのベースを築く静岡聖光学院の授業

静岡聖光学院の教育は、たくさんの知識を獲得し、基礎学力を構築することを目的とする20世紀型の学びと、論理的に思考し、獲得した知識を活用できる力を身につける21世紀型の学び、異なる2つの型によってかたちづけられています。基礎学力の向上をサポートする学習支援とともに、論理的思考のプロセスを体得しながら、学ぶ楽しさに目覚めるきっかけとなる「授業」を中心に据え、6年間の学びのベースを築いていきます。

性質が異なる3つの学習が 「学び」をかたちづくる

静岡聖光学院の授業は、Ideas(アイデア)・Connections(つながり)・Extensions(応用)という3つの性質の異なる学習によって構成されます。授業のテーマ、理解や議論の進展・深まりに応じて学習の枠組みを使い分けすることで、好奇心をくすぐり、理解し、考えることの魅力に気づく機会が生まれ、生徒一人ひとりが世界と関わっていくための「学び」がかたちづけられます。



IDEAS

アイデア

基本的な知識やスキル、方法などを理解することを最重視した学習

CONNECTIONS

つながり

過去に得た知識や経験と新たに得たものをつなげて、思考することを最重視した学習

EXTENSIONS

応用

学んだことを活用したり、仮説を立てながら、学ぶことの意味や意義を考える学習



理解すること・考えることの魅力が詰まった各教科の授業

中1国語

『竹取物語』をインドに輸出せよ

『竹取物語』を題材に「日本を輸出」をミッションとして、古語の基礎を学び、物語の謎や魅力などの気づきを得ながら、その着眼点と日本文化や価値観とのつながりを考察します。最後に「かぐや姫の衣装から日本の着物文化を伝える」「竹の活用：竹で世界を救う」などのテーマでインドの同年代の学生に伝えるための動画を制作しました。

中1理科

生物をデザインする

生物の多様な形質はどのようにして生まれてきたか？地球史と生命史を通して生物の進化について学び、「生息環境が変化したとき、生物にはどのような進化が起こりうるか」という問いに進化論の観点から挑みます。興味ある生物を題材に、起こりうる進化について考察と議論を繰り返しながらデザインし、根拠にもとづいて出来上がった成果物を発表します。

中3社会

表現の自由はどこまで認められるか？

怪盗を主人公にした小説が異例のヒットをしました。その結果、小学生のなりたい職業ランキングの上位に怪盗がランクイン。政府は将来的な治安の悪化を考慮して、小説家と出版社に出版の差し止めを求めました。このたとえ話をもとに、小説家や出版社の表現の自由はいったいどこまで認められるのかについて考えます。

高2数学

2次曲線をプログラミングのように学ぶ

競技プログラミングのように、お題通りに動く方程式を時間内にいくつ作れるかを競い合います。作った方程式をグラフソフトで試してみること、解答を見ずともフィードバックが得られ、思い通りに動くまで試行錯誤ができます。終わりに「自分の作った方程式がなぜうまく動くのか」を発表し、方程式とグラフの概念を結びつけて理解します。

教室と外の世界をシームレスに繋ぐ

リアルとオンラインの融合

静岡聖光学院では、2017年より1人1台タブレットや教室をオンライン授業可能施設に大きく改革してきました。すべての通常教室にプロジェクター・カメラ・マイク・スピーカーを設け、教室内で国内外の研究者や専門家・他校生徒との臨場感ある双方向のアクセスを可能にし、南極昭和基地からのライブ中継や海外大学研究者による授業、フランスやタイ、アメリカなどとのオンライン国際交流、世界銀行で活躍するOBによる講演、卒業生による進路相談会など、教室と世界を結んできました。教室に縛られず、より社会の中に学びの機会を広げるために、リアルとオンラインの良さを生かした新たな学びを提供しています。



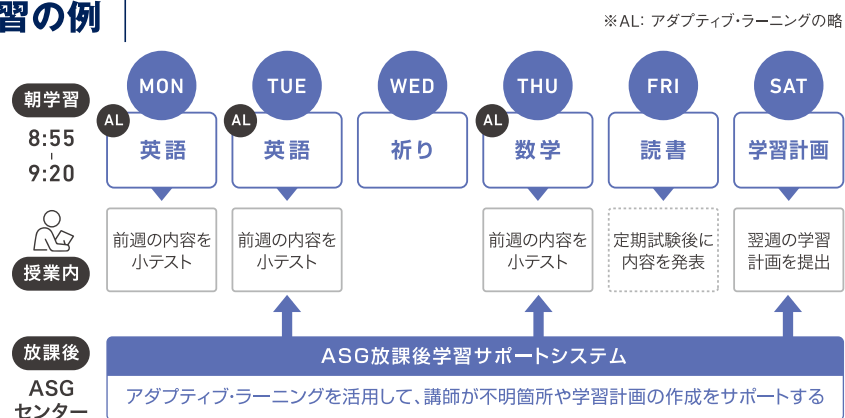
学習支援

探究心を支える知識の定着と 目標進路を実現する学力向上をサポート



1週間の朝・授業・放課後学習の例

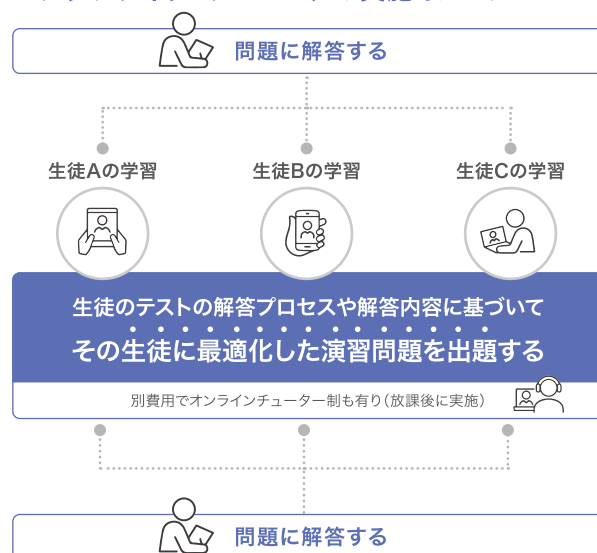
獲得した知識を定着させ、基礎学力を向上させるため、個々の生徒の学習レベルや進捗に合わせたアダプティブ・ラーニング、放課後学習サポートシステムなどの学習支援体制が組まれています。これらの学習支援のツールやシステムと、授業内での小テストや定期テストを連動させながら、毎日の朝学習も実施しています。毎週土曜日に翌週のテストの範囲を踏まえて生徒が個々に計画を立てた上で、自分で学びのペースをつくります。朝、授業、放課後を、目的をもって取り組む一連の学習の時間とすることで、学びを常に継続できる仕組みとして生徒の自律的な学習の習慣化を促します。



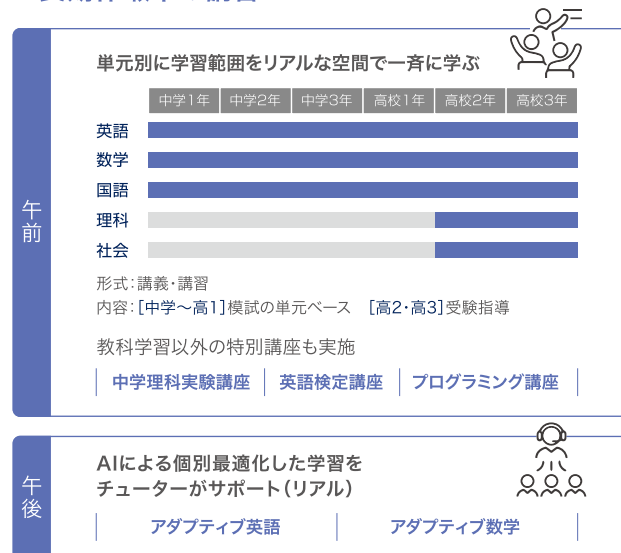
アダプティブ・ラーニング = 個別最適化学習

アダプティブ・ラーニング((AL)＝個別最適化学習)とは、学習者の能力や進捗状況などをAIを用いて蓄積・分析して一人ひとりに合った学習内容を提示する学習方法です。本校では朝学習や授業時間、長期休暇中の講習でアダプティブ・ラーニングを実施することで教員やチューターがつまづきをサポートしながら、自学自習の習慣確立へとつながっていきます。また、希望者と寮生全員向けには、塾と教育提携した「放課後学習サポートシステム」も導入し、基礎学力の定着を徹底します。

● アダプティブ・ラーニングの実施イメージ



● 長期休暇中の講習(選択制)



ASG放課後学習サポートシステム After school Special Guidance

塾と教育提携 専門職員が常駐し学習サポート

※別途有償

専門職員は生徒のベースメーカー・伴走者

時間がかかってる？ 解説を飛ばしてる？
手が止まっていない？



グループ学習では、専門職員が生徒の学習状況や学習の様子をリアルタイムで確認。困っている様子があれば、個別に学習指導やモチベーションアップを行います。また、高校生対象の医学部・難関大学受験のためのオンライン個別指導コースも用意しています。

ASGセンター開室時間

平日 15:00～20:50
土 9:00～17:00

※年末年始・お盆期間を除き開室

習熟度クラス

中1は習熟度別のクラス分けはなく、中2からは教科別(英・数)習熟度クラス編成で、得意な教科はどんどん先取り学習を進め、不得手な教科は基本に立ち返ります。高2から目標進路に応じたクラス編成も行い、受験合理性も踏まえた学習へと移行します。

中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年	目標進路
英語アカデミックコース ▶ p.11				海外進学コース		最難関国公立大学など 海外大学
習熟度別なし				習熟度クラス (文系・理系)		国公立大学 難関私立大学

● 進路に関わる学習指導の流れと注カポイント

中学3年	高校課程先取り: 英語・数学・国語	高校2年	高校課程(教科書)修了: 英語・数学・国語 2月マーク模試での合格率80%達成をめざした逆算カリキュラム
高校1年	大学進学志望校の絞り込み→文理選択	高校3年	特別講座で志望大学の過去問題演習を徹底

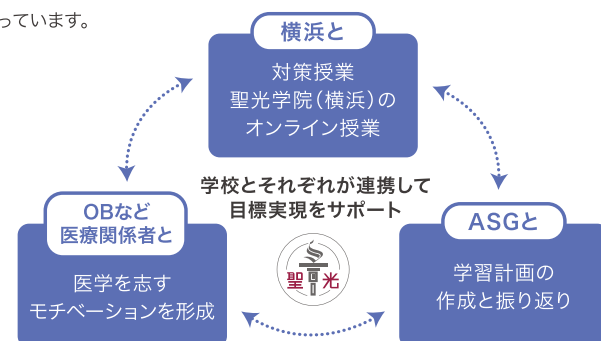
最難関への合格を叶えるための受験指導体制

● 聖光学院(横浜)やASGとの連携

東京大学をはじめ最難関大学への合格実績で全国上位に名を連ねる姉妹校の聖光学院(横浜)と連携した受験指導を実施しています。横浜での夏期合同講習やオンラインでの放課後特別講習のほか、高校1年の秋には国内留学も可能で、同じ目標を持つ仲間と出会い切磋琢磨することで、高いモチベーションを持ちながら目標達成に向けて学習に取り組みます。さらにASGによる学習計画の作成・振り返りのサポートとも連携することでより効果的な学習への取り組みを継続できる仕組みづくりを行なっています。

● OBなど医療関係者との連携

医学部志望者に対しては、横浜のオンライン対策授業やASGの活用に加えて、キャリア面からのサポートも行います。医療従事者の道を進んだOBをはじめとする医療関係者などと連携し、「なぜ医学を志すのか」という内発的動機の形成を手助けすることによって、自分の内面から起こってくる目標達成への意欲によって学習効果をさらに高めます。



英語教育 -静岡聖光GIEP in English-



実践的英語習得と協働・共創体験で 世界を広げ 世界へ挑戦

「静岡聖光GIEP in English」とは、英語習得とグローバル教育、海外大学進学指導、それぞれが効果的になるよう連携、統合された英語教育プログラムです。良質なインプットとアウトプットでゼロベースからの実践的な英語習得を実現する英語教育と、生徒の自主性を促す个性的で多種多様な国際交流、それぞれのアプローチによって構成されています。言語や文化を超えて世界中の人たちと協働・共創する経験は、自分と世界の触れ合う範囲を広げてグローバルな視野を開きます。海外大学進学のサポート体制も整え、世界の課題解決に挑戦し貢献したいという思いの実現にも応えていきます。

※GIEP=Globally Integrated English Programの頭文字を取った本校による造語です。

静岡聖光 GIEP in English

英語教育



国際交流



海外進学

学びに向かう力を育む英語教育

一必要とされる英語学習時間ー

日本語母語話者が英検1級(CEFR C1レベル)に到達するのに必要な時間

およそ
2,700時間

授業以外に必要な
学習時間は
およそ
900~1,600
時間

大学入試共通テストで得点率90%以上＝英検準1級(CEFR B2レベル)以上の到達に必要な時間

およそ
2,000時間

学校の時間は
6年間で
およそ
1,100時間

大学入試に必要な英語レベルに到達するためには、学校の授業時間に加えて、授業以外で必要とされる自学・自習の時間(900~1,600時間)が鍵となります。そのためには、自ら率先して学習ができるよう“自律型学習(learner autonomy)”が求められます。自分にあった学習方法を見つけ、自ら学習環境を作り出し、失敗の悔しさや成功の達成感とうまく付き合う心を育て、日々の学びを自律的・主体的にしていかなければなりません。本校の英語科では、英語の学びに向かう力を育む3つの柱を掲げています。それが、“モチベーション”、“正しい学び方”、“継続”です。

ゼロベースからの実践的英語習得をめざす

本校の英語教育は、「読む」「聞く」「書く」「話す(発表・やりとり)」の4技能5領域を総合的に身につけるため、習熟度クラスを編成して、より質の高い授業や、検定試験対策のサポートを行っています。インプットとアウトプットのバランスを考慮して学習内容を精査しており、フォニックスで始まる発音指導、多読多聴、使うことを意識した語彙・文法プラクティスなどのインプットが学習全体の70%、スピーキングやライティングといったアウトプットが30%です。このバランスによって、より高いレベルで4技能5領域を伸ばすことが可能となります。さらに普段から世界とつながり、英語「で」学び、学ぶ動機や目的を大切にしながら英語教育を実践します。

良質かつ大量のインプット

優良なインプットの手法である「多読多聴」によって自然な表現を学ぶとともに「結論→説明→説明」という英語の言語構造を学習初期段階で体得させます。Oxford Reading Tree教材や英語版漫画・雑誌を活用するほか、英英辞書の指導も行います。授業や自学自習にはロイロノートや録音アプリなどのテクノロジーも積極的に活用。自分の発音を聞き返してネイティブスピーカーの発音と比べ、より伝わる発音に近づけたり、反復練習や会話練習アプリでは丁寧なフィードバックを受けながら、学習の進捗を可視化できます。

行動の変化が鍵!

言語学習の3本柱

モチベーション

英語を学ぶ動機や伸びるタイミングは人それぞれ。学ぶ環境に恵まれた現代、自ら学ぶ自律した学習者へ。「学び方を学ぶ」

正しい学び方

第二言語習得理論に基づいた英語教育。70%のインプットと30%のアウトプット。

継続

学び方を学ぶ授業をきっかけとし、授業外の個別学習での積み上げ。

グローバル基準のスムーズなアウトプット

アウトプットの力を高める効果的なプログラムとして「ドラマエデュケーション」を採用しています。ヨーロッパやアジアの多くの学校では正式科目となっており、教育効果は世界的に認められています。それぞれの個性や可能性を輝かせるために2022年度は3日間英語ミュージカル「Tarzan」のワークショップを行いました。自分とは違う登場人物を演じることで、相手の気持ちを考えたり、仲間と本気で協力して取り組むことができるワークショップで、学級ごとに工夫しながら発表を行いました。

中学1年から習熟度展開 帰国生向けのアカデミックコースも設置

中学1年	中学2年	中学3年	高校1年	高校2年	高校3年
アカデミックコース					
IGCSEルート					
〈ケンブリッジ国際ナショナルプログラム〉▶ P.14					
A Levelルート					
通常英語コース					
ビルドアップ講座					
■ オンライン個別レッスン(初級・中級) 〈英語学習を自主的に進めたい生徒向けの有料講座。レベルに応じた英検取得を目指す〉					
■ 国際交流 〈6年間を通じて多種多様な交流イベント、海外研修を用意〉▶ P.13					

アカデミックコース	通常英語クラス
海外進学を視野に入れた生徒や英語を使って主体的に国際交流に参画したい生徒に向けた英語授業を実施。対象は、英検準2級以上の英語技能を有し、中学1年次の英語Iの授業内容をすでに十分に理解している生徒とし、中学2年次以降は海外進学コース(IGCSE/A level)受講を視野に入れたクラスです。All in Englishでの講義、ディスカッションやエッセイ、プレゼンテーションづくりを通して、英語力の向上や国際教養を身につけることを目指します。英語Iから取り出して別教室にて授業を行います。対象科目は英語のみです。	通常クラスは学級編成のまま実施します。「英語1」と「英語2」の2種類の授業があり、どちらもアルファベットや発音と文字の関係性を学ぶ音声学習法「フォニックス」など、英語をゼロから丁寧に学習します。 ビルドアップ講座…中1の5~12月に実施。小学校英語から始めて、これから英語学習をより頑張っていきたい生徒向けの有料の補講講座です。授業とは別に英検3級取得を目標に学習を進めます。週2回、部活動のない放課後に本校にて実施します。

STEAM教育

教科横断的な学びで 課題解決の必須ツールを習得

STEAMとは、科学 (Science)・技術 (Technology)・工学 (Engineering)・リベラルアーツ (Arts)・数学 (Mathematics) の5つの英単語の頭文字を組み合わせた教育理念を表す造語です。論理的思考を中心とする理数教育とクリエイティブで直感的な思考力を育む教育、双方の分野を横断し、社会とのつながりを考えながら学ぶことで、課題解決に必要な知識や技能、方法を習得することができます。本校では、自分の思い描く世界をかたちにする設備を整えた「BIGIRION-Garage」と、かたちにしたものを世界に発信する舞台の「Pierre Robert Hall」をSTEAM教育の拠点として位置づけ、教科横断的な学びを効果的に促進する環境づくりも行っています。



STEAMの拠点 創造の源

BIGIRION-Garage

ビギリオンガレージ

BIGIRION-Garageは、本校におけるSTEAM教育の中心となる「美・技・理・音」と、アメリカの有名な起業家達が自宅のガレージで創業した逸話を踏まえ、創造的思考者を育てる思いを込めて命名された文理融合のデジタル創造工房です。デジタルテクノロジーをはじめとするSTEAMのスキルを育む多様な教科授業や、生徒と社会との接点を生み出す開かれた場として活用しています。

“大好き”から始まり創造的思考者へ

BIGIRION-Garageは、プログラミングや3Dモデリング、3Dプリンターによる造形、デジタルグラフィックアート、ドローンや映像、音楽などさまざまな可能性を模索しながら日々進化しています。生徒は、授業で学んだ基礎的なスキルや個々が持っている興味や“大好き”を活かして、自由にプロジェクトを立ち上げ、学年を超えた仲間同士が自発的なアイデアを持ち寄り遊び心と創造力を働かせます。「アイデアをかたちにする」ことによる失敗と成功を繰り返しながら、課題解決の手段を手に入れ、創造的思考者としての学びのサイクルを加速させていきます。



プログラミングを通じて課題解決型の思考法を体得

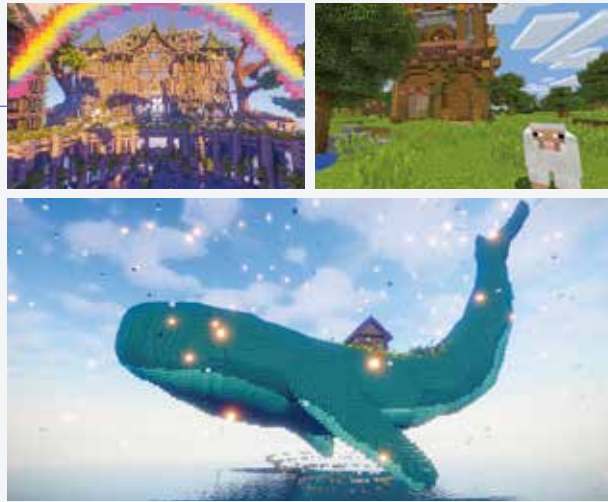


STEAMスキルの中でも、これからのデジタルテクノロジー時代における課題解決の必須ツールとなるのがプログラミングです。本校では、デジタルテクノロジーの「消費者」とどまらない、「創造的思考者」を育成することに主眼を置き、2020年度から中学校でプログラミングの特別授業を開始しました。まずは「Scratch」に代表されるビジュアルプログラミング言語を導入してプログラミング的思考を体験的に身につけ、課題に適した言語を選択しながらコーディングの学習へとステップアップします。試行錯誤の道のりを楽しみながらプログラミングが日常的なツールとなり、「課題発見」「論理的思考」「創造的思考」の力も伸ばしていきます。

プログラミング実践例 1 マイクラッチ

ゲームの世界にアイデアを表現しよう

3Dの仮想世界を探索したり、自由にブロックを配置し建築などを楽しめる世界中に多くのユーザーを持つゲーム「Minecraft」を、Scratchを用いてプログラミングできるよう開発された教材「マイクラッチ」を使用。建造物や仕掛けなどオリジナルのダンジョンをMinecraftの世界につくることができます。授業は現役のエンジニアを講師に迎え、担当の先生もサポートに入って常に複数名体制で行います。頭を悩ませプログラミングした自分のアイデアが、ゲームの世界に反映されていくワクワク感を味わいながら、座標軸、フローチャート、条件分岐、乱数といったプログラミングの基礎となる方法や考え方を学びます。



プログラミング実践例 2 レゴ® マインドストーム®

論理的にもものの動きを制御しよう

レゴ® マインドストーム® は、MIT(マサチューセッツ工科大学)とレゴ社が共同開発した、教育用ロボットキットです。荷物を牽引したりするモーターの制御や、色を判別するカラーセンサーを利用したプログラムなど、ものの動きが論理的に制御される仕組みを、手を動かしながら理解することで、論理的思考のプロセスも体得します。授業で扱うのは入門的内容ですが、課題解決の方法としてレゴ® マインドストーム® から着想を得た生徒が、自らプロジェクトを立ち上げてオリジナルのロボット制作へとつながる事例も生まれています。



社会とつながる発信舞台

Pierre Robert Hall

ピエールロバートホール

自分のアイデアを他者に知ってもらい、賛同者や協力者を募ってムーブメントを起こしていくためのコミュニケーション方法として、プレゼンテーション力の育成が重要であると考え、授業やイベントを通じて他者の前でプレゼンする機会を数多く用意しています。初代校長の名前を冠した専用のホール（PRH／ピエールロバートホール）は、プレゼンに必要な機材や、演出効果を高める照明機器も備え、社会とつながる発信舞台となって生徒の表現力を喚起します。

学校の垣根も越えて さまざまなプレゼンにチャレンジ

CCAUSE Project

CCAUSE Projectは静岡聖光学院主催の高校生オンライン英語プレゼンコンテストです。静岡県内外の公立・私立高校から集まった意欲とエネルギーに溢れる生徒たちが、それぞれの愛してやまないもの、自分を幸せにしてくれるもの、いわゆる「推し」をテーマに熱く語ります。参加者は、各地からオンラインで事前研修を行い、世界を巻き込んでいけるような「インフルエンサー」となるべく、オーディエンスが自分の推しに興味を持ったり、その世界を知ることによってHappyになれるようなプレゼンテーションをめざして創り上げていきました。

VRを活用した表現活動

本校の自然科学部ではバーチャルリアリティ（VR）空間を用いた活動を行っています。写真やポスターなどでは伝わりにくい「ミニ四駆のリアウイング」や「ドローンの羽」などを細かなこだわりを持って表現しています。聖光祭では生徒自身の研究を表現するVR空間を作り上げ、来場者にヘッドマウントディスプレイを装着してメタバースを体験してもらいながら説明を行いました。自分の世界観を他者に伝える難しさを乗り越え、その表現に感動してもらう体験を経て、さらなる探究へのエネルギーとしていきます。



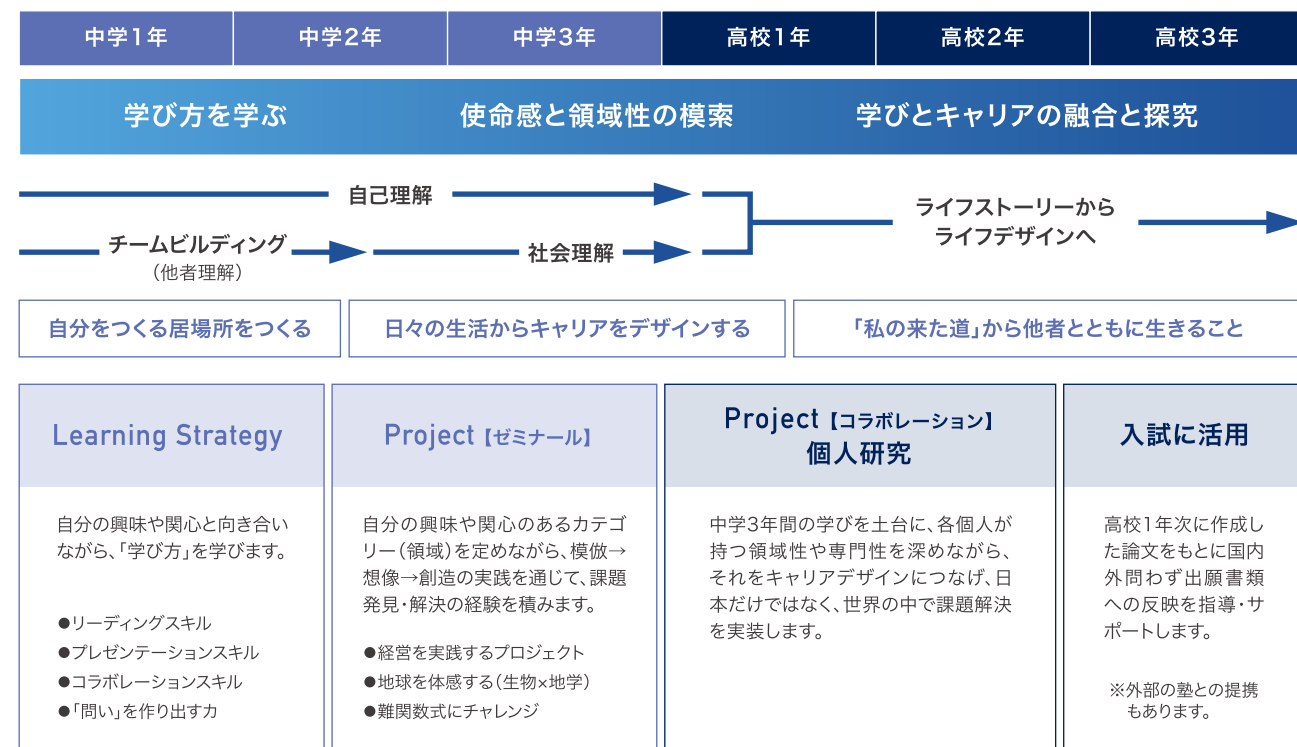
Project - 探究活動 -

内から湧き出る探究への意志が 学ぶ意欲を最大化

毎日の授業や自主学習で構築した学びのベースの上には、課題解決的な学習や、そこからより発展した探究的な学習による学びが築かれています。静岡聖光学院のProjectは、興味関心や好奇心を大切にしながらも、一過性の探究活動にとどまらず、将来の進路を見据えたキャリアデザインと連動したプログラム設計になっています。多様な経験やたくさんコミュニケーションを通じて、「なぜ学ぶのか」という動機付けを明確にしながら、当事者意識のあるより深い探究を実践するとともに、自分の将来やキャリアを考えるきっかけにもつながっていきます。



キャリアデザインと連動したProjectの6年間

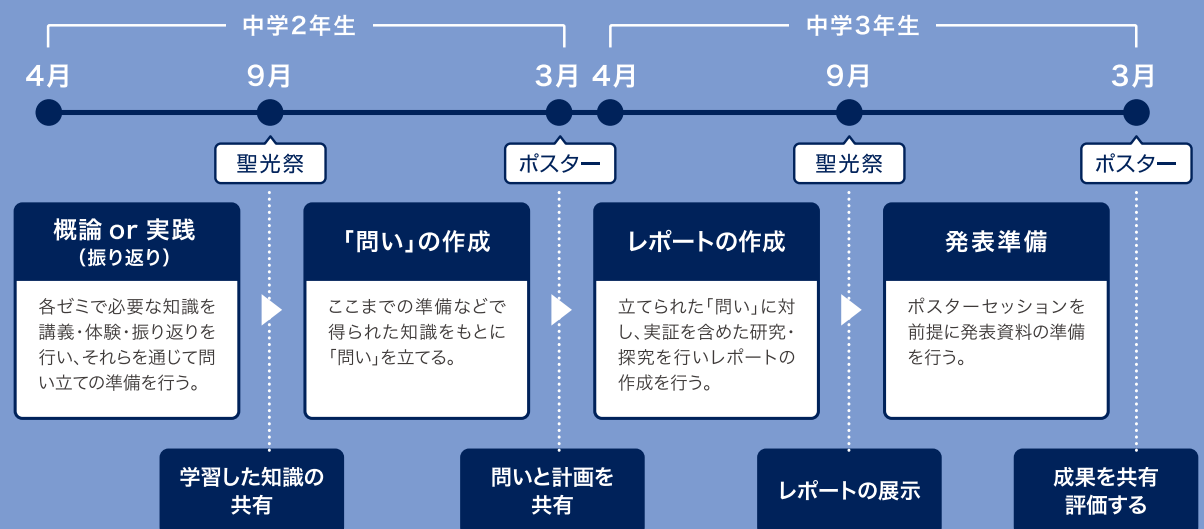


部活動・個人発案のプロジェクト／外部連携

- 農業男子キャキャロット自然農法農園 ●ドローンパイロット研究 ●災害時避難ドローンシステム研究 ●全日本UJボクシング競技
- 全日本ジュニア障害馬術競技 ●メディア部(学内デジタル広報制作) ●生徒寮フードロスプロジェクト ●鉄道ジオラマ模型研究 ●サメ類研究
- プラズマ研究 ●マインドストーム研究 ●マインクラフト研究 ●ナノブロック研究 ●国際バレエ競技 ●水中ドローン海洋研究プロジェクト

【中2～中3】 Project【ゼミナール】のプロセス

Projectの6年間において、大切なテーマの一つが「誰のために、なぜ、課題解決をするのか」ということです。その動機付けを明確にする期間が中2～中3にかけて設定されている「Project【ゼミナール】」です。「地の塩 世の光」が示すように、自分を活かして、他者に与えるという価値観を前提としながら、最先端のものに触れ、学問を知り、体験を通じて学んでいく2年間です。経験の中で気づいたことを振り返り、学び続け、そして、それらを聖光祭やポスター発表の場などでアウトプットします。また、静岡大学と提携したゼミも多く開講され、わくわくした気持ちとともに先輩たちと一緒に学ぶ機会も用意されています。身近な先輩との交流によって、学ぶ動機やキャリアのイメージをより具体的に考えるきっかけにもなります。





生徒が主役 多彩なテーマのプロジェクト

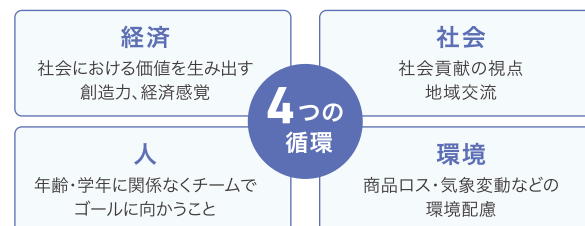
本校の探究活動は、学校が枠組みを設定した活動だけでなく、生徒が自主的に立ち上げたプロジェクトも多数あります。その内容も多岐にわたっており、放課後は校内のいたるところで活発に探究活動が行われています。

F×edプロジェクト

FOOD×EDUCATION

生徒が主役 多彩なテーマのプロジェクト

2020年に始まったF×ed(フェッド)プロジェクトは、国内最大級のレシピ投稿サイトを運営するクックパッド株式会社と、静岡で弁当惣菜の製造販売を展開する株式会社天神屋とのコラボレーション企画です。面接による選抜を経た中1～高2の生徒が5人ずつ2グループに分かれ、各グループに渡された50万円の活動資金を元手に、「食と循環」をテーマにした「ごはんの素」を企画。製造、社会、環境、人、4つの観点の「循環」と「食」とを結びつけながら、食の新しい可能性を切り開きます。



ミニ四駆プロジェクト

ミニ四駆は電池やモーター、各種パーツの多様な組み合わせが可能です。「最高の走り」を実現するマシンを組み上げる課程では、電圧などの数理的な知識、空気抵抗やバランスを踏まえたボディを作る想像力や技術が必要です。「好き」を起点にしたプロジェクトを通して、STEAMの領域を横断するスキルや感性が磨かれ、実生活と教科学習を行き来する学びの回路をつなぎ合わせます。



新たなゼミも開講 より充実した探究へ

中2からはじまるProject[ゼミナール]では、さまざまな分野のゼミも新たに開講されます。生徒の興味・関心に基づきながら学び、「誰のために、なぜ、課題解決をするのか」という動機付けを明確にしていきます。



農学・化学・生物学ゼミ

学校に隣接する耕作放棄茶畑でフィールドワークを行い、農学・化学・生物学の体験と学びの場とします。静岡大学農学部・理学部の研究者・大学生の協力を得て、地球環境問題や生態系の循環、静岡県の主要農産品である茶園の再生や、農業分野からのカーボンニュートラルへの貢献など社会課題の理解とその解決方法について学びます。中2から中3の2年間をかけ、得られた知識から自分なりの「問い」を立て、実証を含めた研究・探究を行い「発表」までを行います。

聖光農園 耕作放棄茶園の再生

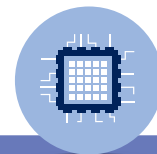


耕作放棄地はさまざまな背景と学際性をもっています。放棄された茶の木をバイオ炭にした土壌改善の活動や、植物による忌避効果で作物を害虫から守る試みなど、耕作放棄地ならではの方法を試験しています。農学を楽しみながら実体験で学ぶ、実学のフィールドです。



国際交流ゼミ

日本の「良さ」を歴史・観光・言語の観点から考え、それを英語を活用しながら、日本に興味を持っている外国人に伝えるコミュニケーションを深く学ぶゼミナールです。



工学・プログラミング・数学ゼミ

数学(数式)をベースにしたロボットプログラミングからスタートして、工学・数学・プログラミングなどの専門分野に分かれ自分の興味のある分野の学びを深めます。



経営ゼミ

商品やサービスの価値、市場の中にあるニーズ、イノベーションを行うための組織について、起業することや小さなイノベーションの経験、その振り返りを通じて学びを深めます。

Topic!

静岡大学と中高大連携協定を締結

2022年11月、本校と静岡大学が中高大連携協定を締結しました。これは、本校と静岡大が隣接しているということを活かして連携、交流することで、互いの教育機会の提供や学習意欲を高め、各校の充実活性化を図るとともに、地域に貢献することをめざした教育連携協定です。静岡大の学生が本校で教育実習を行ったり、静岡大の教員の方々が本校への出張講義やゼミなどへ派遣してもらったり、本校が実践する先進的な教育活動への大学院生や学部生の派遣、学術的助言・監修など、これまで個別に実施されてきた相互の交流を組織間で連携して行うことでより相乗効果が高まることが期待されます。



「地の塩 世の光」 として輝く

SAL TERRAE LUX MUNDI

未来を織り込んだ学びをたずさえ 自分の生き方を創造するために

静岡聖光学院の進路指導は、志望大学合格にフォーカスした学習指導のみならず、10年後、20年後を見据えたキャリアイメージを描くため、「なぜ学ぶのか」という動機づけを大切にしています。今この時だけでなく、生涯にわたって自分自身を支える力となってくれる未来を織り込んだ学びをたずさえて、自分の生き方を創造していくために、生徒一人ひとりに最適なアドバイスやサポートを行います。

「学力向上委員」による個別サポート

生徒一人ひとりの状況や希望に応じた進路指導を実現するため、コーチング研修を受けた「学力向上委員」の教員による学習指導面談を行います。学年外・担任以外の教員が担当生徒と毎週面談し、家庭学習での教材や難易度の選び方、学習計画などについてアドバイスします。日々の授業や学習支援のさまざまなツールやプログラムをよりよく活用できるよう促し、生徒の目標達成への自律的な学びをサポートする役割を担います。

進学後も見据えたキャリア教育

(2022年度実績)

自分の将来像を思い描くことで初めて、何を学びたいかが明確になり、学習へのモチベーションを高めることができます。兄弟校の聖光学院(横浜)を卒業した現役東大生による「あすなる講習」は、受験に向けたアドバイスや学習指導を受けながら、身近なロールモデルとのコミュニケーションにより、キャリアイメージを描く手がかりを得る機会となります。また、社会の第一線で活躍する本校OBや著名人を招いたオンラインの講演会や講習会も実施しています。

直近4年間(2022年・2023年・2024年・2025年)の主な合格先

卒業生 2022年 72名 / 2023年 72名 /
2024年 66名 / 2025年 82名

※既卒生を含みます。

国公立大学					私立大学					国公・私立【医・歯・薬】					
2022	2023	2024	2025	計	2022	2023	2024	2025	計	2022	2023	2024	2025	計	
・東京工業大学	1名	1名		2名	・慶應大学	4名	7名	11名		・北里大学(医学部)		1名	1名		
・東北大学		1名		1名	・早稲田大学	4名	2名	5名	1名12名	・弘前大学(医学部)	1名		1名		
・大阪大学	2名		1名	3名	・上智大学	6名	1名	1名	8名	・岩手医科大学(医学部)	1名		1名		
・筑波大学	1名	1名		2名	・東京理科大学	7名	3名	2名	1名13名	・帝京大学(医学部)	1名	1名	2名		
・北海道大学			1名	1名	・明治大学	2名	6名	4名	4名16名	・福岡大学(医学部)	2名		2名		
・国際教養大学		1名		1名	・青山学院大学	5名	2名	3名	10名	・福島県立医科大学(医学部)	1名		1名		
・東京都立大学	2名			2名	・立教大学	1名	5名	3名	2名11名	・聖マリアンナ医科大学(医学部)	1名		1名		
・東京学芸大学			1名	1名	・中央大学	2名	5名	2名	9名	・国際医療福祉大学(医学部)	1名		1名		
・電気通信大学		1名		1名	・法政大学	4名	5名	7名	4名20名	・杏林大学(医学部)	1名		1名		
・東京農工大学	1名			1名	・成蹊大学		4名	5名	9名	・東邦大学(医学部)	1名		1名		
・静岡大学		2名	2名	2名	6名	・同志社大学	1名	2名	1名	4名	・関西医科大学(医学部)	1名		1名	
・金沢大学			1名	1名		・関西大学	8名		3名11名	・東海大学(医学部)	1名		1名		
・信州大学	1名	2名		3名	・関西学院大学	3名		1名	4名	・東京医科大学(医学部)	2名		2名		
・秋田大学		1名		1名	・立命館大学	9名	7名	2名	9名27名	・愛知医科大学(医学部)		1名	1名		
・静岡県立大学		1名		1名	・近畿大学	8名		2名	10名	・川崎医科大学(医学部)	1名	1名	2名		
・公立諏訪東京理科大学		1名		1名						・昭和大学(医学部)	1名		1名		
・創路公立大学			1名	1名						・獨協医科大学(医学部)	1名		1名		
・水産大学校	1名			1名						・久留米大学(医学部)		1名	1名		
・防衛大学校	1名	1名		1名	3名										
・富山大学		1名		1名											
・岡山県立大学			1名	1名											
・愛知県立大学		1名		1名											
・名古屋市立大学		1名		1名											
・横浜市立大学			1名	1名											
・都留文科大学			1名	1名											

海外大学				
2024	計			
・Monash University Malaysia	1名 1名			
・NIC International College	1名 1名			

主な指定校推薦枠	
上智大学(理工) / 立教大学(文・経済) / 東京理科大学(理・創成理工) / 順天堂大学(国際教養) / 法政大学(社会・生命科学)	

上智大学(理工) / 立教大学(文・経済) / 東京理科大学(理・創域理工) / 順天堂大学(国際教養) / 法政大学(社会・生命科学)
成蹊大学(理工・法・経済) / 明治学院大学(国際) / 日本大学(文理・法) / 工学院大学(先進工・工・建築・情報) / 南山大学(外国語・法・総合政策)
名古屋外国語大学(外・世界教養・現代国語) / APU(国際経営・アジア太平洋) / 関西学院大学(理・経済) など
【医学部】獨協医科大学 / 北里大学 【歯学部】東京歯科大学 / 日本歯科大学 / 日本大学松戸歯科 など
【薬学部】立命館大学 / 東京薬科大学 / 愛知学院大学 / 横浜薬科大学 など

2024年度卒業生の 受験体験記



立教大学
現代心理学部 心理学科
新明 史音

「自分から行動すること」の大切さを実感

静岡聖光学院での6年間を通して、私は「自分から行動すること」の大切さを実感しました。やりたいことや興味があることがあれば、まず動いてみる。その一歩が、自分でも想像しなかった世界に繋がると気づきました。私は映画が好きで、高校1年の「個人研究」では、視覚障がい者と映画鑑賞というテーマに取り組みました。実際にユニバーサルシアターを訪ねると話を聞く機会を得ることができ、ネットで調べる何倍もの理解を得ることができました。高校2年の聖光祭では、「男子校らしい面白さを」と考え、プロテインカフェを企画。業者の方に連絡を取ると、快く許可していただき、沢山のプロテインを提供していただきました。最初は不安もありましたが、行動すれば誰かが応えてくれる、助けてくれるという経験を何度も重ねました。中学生・高校生はこどもでもなければ大人でもなく、待っていても都合のいいように世界は動きません。ですが、何か行動し、その助けを求めた時、周りの人達は思っている何倍も寛容で、その助けがどれだけ大きいものか気づくことができるでしょう。静岡聖光学院の同級生や先生方は私の背中をいつも押してくれました。話を聞き、時に一緒に悩み、挑戦を本気で応援してくれる仲間がそばにいることは、とても心強いものです。静岡聖光学院での6年間は、行動することができる「特権の時期」だと思います。やりたいことがあるなら、まず一歩踏み出してみてください。その瞬間から、きっと何かが動き出します。

卒業生からのメッセージ

静岡聖光学院のホームページでは、卒業生からのメッセージを掲載しています。自身が授かっている持ち味すなわち「地の塩」に気づき、どのようなかたちで「世の光」となって世界に貢献していくかを見つけるきっかけや素地が、静岡聖光学院での日々にあったことが先輩たちのメッセージからはうかがえます。ここではメッセージの内容を2行に凝縮して紹介します。ぜひホームページもあわせてご覧ください。

メッセージページはこちらのQRコードからアクセス!



「まあ、やってみようよ」 自由なチャレンジを応援する風土

12期 / 鈴木 義幸 さん [株式会社コーチ・エィ 取締役会長]

PROFILE

企業経営者並びに管理者向け専門のコーチング会社を経営。1997年に起業、現在160人の社員を擁し、日本を含む世界6か国で事業を営む。在学中はラグビー部に所属、キャプテンを務めた。慶應義塾大学文学部卒 / ミドルテネシー州立大学大学院臨床心理学専攻、修士課程修了。

「実験してみない？」 “苦手”と“好き”がつながるきっかけ

1期 / 川島 良彰 さん [株式会社ミカフェート 取締役社長]

PROFILE

1975年エル・サルバドル国立コーヒー研究所留学。1981年UCC上島珈琲(株)入社後、ジャマイカ、ハワイ、スマトラで農園開発。マダガスカル島で絶滅危惧種の保護 / 保全、レユニオン島の絶滅種の発見とコーヒー産業復活に携わる。2008年独立し(株)ミカフェートを設立し代表取締役社長に就任。日本サステイナブルコーヒー協会理事長。JAL日本航空コーヒーディレクター。東京大学コーヒーサロン共同座長。JETROコーヒーアドバイザー。

自分の言葉、自分の感覚で 理解できないと我慢できなかった

7期 / 坂本 瑞樹 さん [筑波大学 数理工質系 教授]

PROFILE

名古屋大学理学部に進学、大学院から現在に至るまで名古屋大学プラズマ研究所、文部省核融合科学研究所、九州大学応用力学研究所、筑波大学プラズマ研究センターと研究する場所を変えながらプラズマ核融合研究に携わっている。現在、筑波大学数理工質系(プラズマ研究センター)教授。

自分が何をおもしろがる人間なのか 知的探訪にうってつけの場

11期 / 阿部 公彦 さん [東京大学大学院 人文社会系研究科 教授]

PROFILE

1998年小説「荒れ野に行く」で早稲田大学文学新入賞受賞。2013年「文学を(擬視)する」でサントリー学芸賞受賞。東京大学文学部卒業(英語英米文学専修課程)。1992年東京大学大学院人文科学研究科英語英米文学専攻修士課程修了。1997年ケンブリッジ大学大学院英語英米文学専攻博士課程修了。現在は東京大学大学院人文社会系研究科・文学部で英米文学、日本文学の詩や小説を教える。

Man for others

「地の塩 世の光」たれ

— SAL TERRAE LUX MUNDI —

マタイ福音書に書かれる

「あなたたちは、地の塩である。(中略) あなたたちは、世の光である。」

というイエスの言葉は、本校の教育目標として、

校章や校歌に織り込まれ、数多くの卒業生の心の灯となって、

市井で豊かな実を結び、風の中に新たな種をまいています。

今につながれ 未来に続く 創立者の思い



創立者 ラ・ムネ神父

Fr.La Mennais

創立者のラ・ムネ神父は1780年フランスのブルターニュ地方で生まれ、フランス革命後の混乱期に、自分の生まれたブルターニュ地方で道端でしか勉強できない哀れな子どもたちの姿に心を痛み、キリスト教の教えに従って青少年のための教育を始めました。やがて、教育という仕事に専念する修道士会と修道女会を設立し、その後、教育修道士たちは、ラ・ムネ神父の精神を受け継ぎ、フランスばかりでなく、イギリス、カナダ、アメリカ、アフリカ、アジア、日本など、多くの国々に学校を設立し、カトリック的世界観にのっとり、2世紀以上にわたり、数多くの青少年を教育してきました。



初代校長 ピエール・ロバート

Br.Pierre Robert

2019年に創立50周年を迎えた静岡聖光学院は、英国のパブリックスクールを模した生徒寮を持つアカデミックな男子ミッションスクールとして、1969年カナダ出身のキリスト教教育修士会修道士ピエール・ロバート校長とレイモンド・マーテル副校長を含め、15名の教職員で開校しました。ピエール・ロバート先生は、2005年に亡くなられるまでの36年にわたり、静岡の地で世界に羽ばたくジェントルマン教育に情熱を傾けられました。



キリスト教教育修士会

Brothers of Christian Instruction

静岡聖光学院の母体は、ジャン＝マリー・ロベール・ド・ラ・ムネ神父とガブリエル・デヘー神父によって1819年フランスで創立されたキリスト教教育修士会です。日本では本校のほか、横浜の聖光学院中学校・高等学校とさゆり幼稚園、東京のセント・メリーズ・インターナショナル・スクール、その他世界16カ国で118校を運営しています。現在は本部をローマに置き、約1300名の教育修道士が活動しています。

豊かな人間性を育むよりどころとなる キリスト教教育



聖トマス・モア卿と
学内チャペル「オラトワール」

本校には「オラトワール(小さな礼拝堂)」というチャペルがあります。このチャペルでは、英国の詩人、哲学者、政治家として、また著作「ユートピア」でも有名な聖トマス・モア卿が守護聖人として生徒たちの魂の成長を見守っています。お御堂内には、英国の教会から贈られた聖トマス・モア卿の聖遺物が安置されています。

キリスト教教育

中学1年入学時には全新入生に対して新約聖書が贈呈され、希望する生徒には聖書研究会で自主的に学ぶ機会があります。また、寮で生活する生徒たちのために月1回の校内ミサがあり、クリスマスには全校生徒でキリストの生誕を祝うミサやイベント・ボランティア活動を行っています。世界の歴史や文化、先人達の生き方や考え方を知り、自分の心で咀嚼して、自分なりの倫理観や人生哲学を考える機会が本校には数多くあります。

地の塩 世の光 -SAL TERRAE LUX MUNDI-

マタイ福音書5章13-16節には「あなたたちは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。(中略) あなたたちは世の光である。(中略) あなたたちの光を人々の前に輝かしなさい」と書かれています。「地の塩」とは関わる全ての人の人生に一味加える存在、「世の光」とは自分の存在を燃やし、他者を活かす存在であり、本校生徒のあるべき姿が示されています。

授業科目：キリスト教倫理

本校の目標とする「地の塩 世の光」となる青年を育成するために、中学3年間をかけて社会倫理の教科書や聖書に書かれているイエスの語った例え話や人々の生き方を通して、人間の道・本質・使命・道徳を学びます。また、高校では古代ギリシャ哲学からイスラム教、古代インド思想、日本の神道、仏教、儒教などの洋の東西を問わずさまざまな哲学思想を学び、「自分はどのように社会・世界と関わり、よりよく豊かな人生を送るか」を考え、人生の岐路に立った時に方向を指し示すゆるぎのない羅針盤を手に入れます。



CLUB ACTIVITIES

－部活動・同好会－

部活動をはじめとする課外活動や年間行事は、日々の学習と切り離されたものでは決してありません。学校生活のすべてが途切れることなくシームレスに関連した教育の機会となっており、相互に影響をもちあひながら、生徒一人ひとりの自主性を育み、積極性やリーダーシップ、創造性、表現力などが培われていきます。小高い丘に広がる学校の敷地には、全面人工芝グラウンドの「R・マーテルフィールド」をはじめ、2つの体育館や自然科学の観察などを行う庭園と、課外活動に活気を与える環境も整っています。



トリニティアリーナ (冷暖房完備)



R・マーテルフィールド

部活動		同好会・ゼミ活動		委員会活動	
ラグビー部	美術部	聖書研究会	鉄道模型	クラス委員会	放送委員会
サッカー部	人文学部	聖光農園	文学研究	宗教活動委員会	保健委員会
剣道部	ミニ四駆部	メディア	クイズ研究	静聖委員会	環境委員会
バスケットボール部	自然科学部	学校横断型 プログラミングゼミ 「School X」	映像・音楽制作	SCL委員会	聖光祭委員会
硬式テニス部	ドローン班		投資研究	ICT委員会	国際交流委員会
吹奏楽部	ボードゲーム班			体育祭委員会	
	プログラミング班				

※2024年度の活動実績および2025年度以降の予定を含みます。



部活動サミット



2018年より本校有志生徒が主催者として、全国の学校部活動で行われている長時間・高頻度の過酷な練習状況を改善するため、生徒にとっての最適な部活動環境とは何かを考えるサミットを開催しています。開催費用にかかる費用も生徒がクラウドファンディングを活用して行うなど、さまざまな創造工夫をこらし、その革新的で意義ある活動にはスポーツ庁鈴木大地元長官も視察に来校し、社会に対する影響を与えています。



bio-lithotope (生命と岩石の庭園)

SCHOOL EVENTS

年間行事 ▼

4 入学式／前期始業式
防災訓練
中1 LGキャンブ
吹奏楽部定期演奏会

5 体育祭
高1 キャリアキャンブ

6 定期試験

7 定期試験
中3 英語プログラム

夏休み
夏期講習(前期)

8 夏期講習(後期)
SGDC国際未来共創サミット

9 定期試験
聖光祭

10 前期終業式／後期始業式
中2 LGキャンブ
写生大会

11 高2 研修旅行

12 定期試験
中1 英語プログラム
クリスマス礼拝
全校ボランティア活動

冬休み
1 中学入学試験
高校卒業式／記念ミサ

2 高校入学試験
中3 スキー研修

3 定期試験
中3 卒業記念ミサ
修了式

※2025年度予定



DORMITORY LIFE

静岡聖光学院の寮生活

調和することを学び 仲間となり家族となる

静岡聖光学院は生徒寮のある学校です。寮生同士の生活の中には、自宅で過ごす時には経験できない不便さ、不自由さ、我慢しなければならないことが数多くあります。けれど、学年を追うごとに協力し、感謝し、気遣いするという周囲との調和の取り方を学びます。寮生活の中で生徒は人生における仲間との絆を感じ、仲間はさらに一生継続く家族のような存在になっていきます。



ル・セール寮とボセジュール寮



ボセジュール寮(中学寮)



ル・セール寮(高校寮)

学校敷地内に2つの生徒寮が併設されています。寮生活では、学習やイベントのほか生徒自ら清掃を行うなど、自立して快適に生活することの大切さも学びます。また、世界各国からの留学生も受け入れ、日常的に英語を使うグローバルな環境づくりもめざしています。

卒寮生の声

マイナスをプラスに変えていく力



電気通信大学 III類 機械システム学科 進学

林 賢人

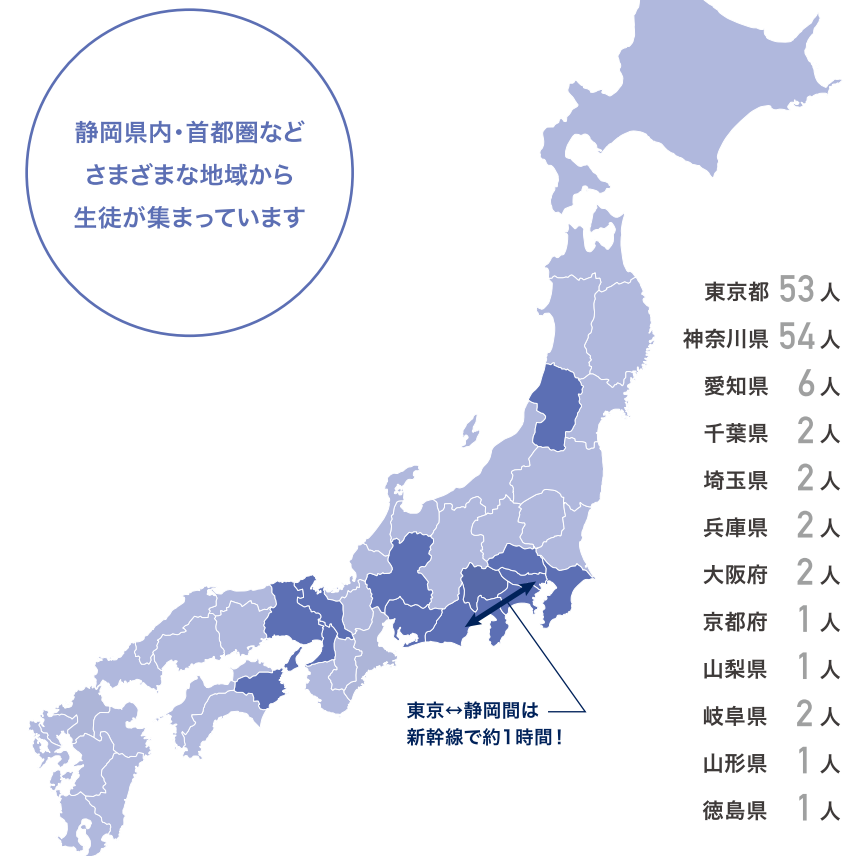
2023年度卒業

刺激を求めるか否か。僕は前者を選択しました。親元から離れたいという思いもありましたが、僕はより楽しく、より刺激が強い日常を求めました。寮には親がいなく周りには友達のみ、その上、洗濯、部屋の掃除、ベッドメイキングなども全て自分で行います。それは僕にとって最高の刺激でした。

常に友達がいて他学年もいる集団生活は、プラスにもマイナスにも働くことがあり、特に受験期初期の僕にはマイナスに働いていました。マイナスを減らすには「自分が変わること」です。集中するためにあえて寮を離れて勉強し、疲れたら友達がたくさんいる寮に戻り、おしゃべりをしてストレスを緩和していました。マイナス面をなくしプラス面のみにしたのです。寮での6年間でマイナスをプラスにする力をつけました。自分にとってマイナスなことがあったら、投げ出したいくなり向き合うのを避けようとするかもしれませんが。しかしそれがプラスになったら得しかありません。この力は将来、人間関係、学習、生活いろいろな部分に活かせるのではないのでしょうか。

出身地情報(通学生・寮生)

※2025年3月現在



合計 489人

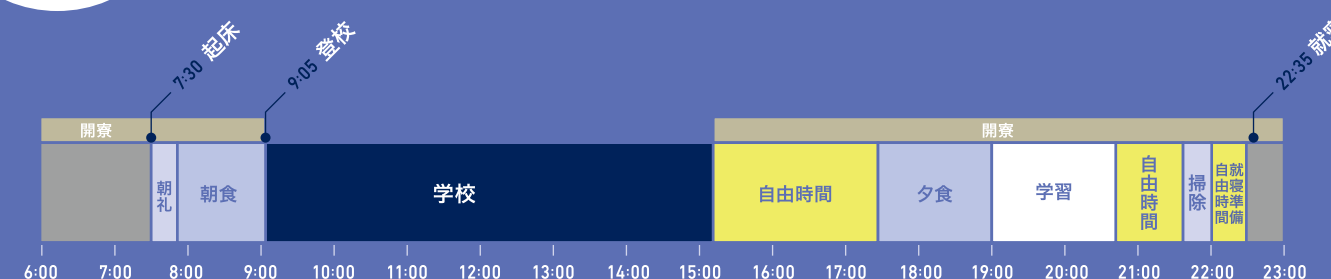
中部	211人(静岡市・藤枝市・焼津市・島田市)
東部	87人(富士市・富士宮市・三島市・沼津市・伊豆地区・他)
西部	64人(浜松市・磐田市・袋井市・他)

寮生は原則週末に帰省しますが、勉強・部活など希望者は寮に残ることもできます。

寮での1日

DAILY ROUTINE

充実した毎日が、ジェントルマンを育てます。

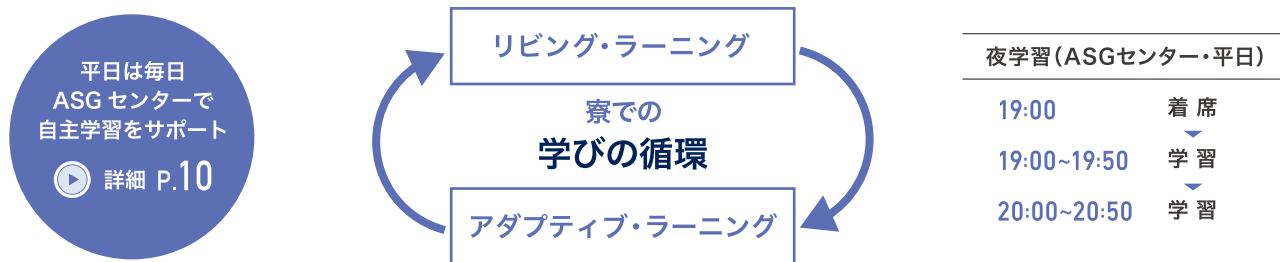


寮での学習と活動

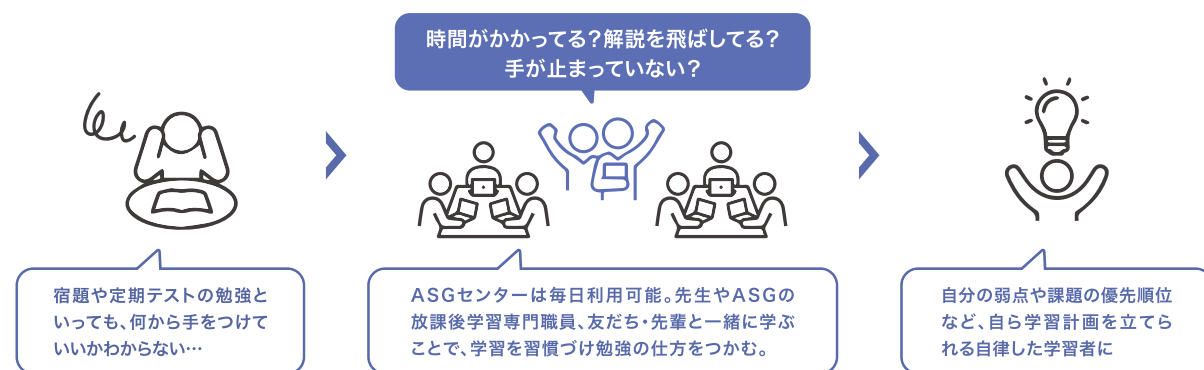
静岡聖光学院の寮は、単なる居住空間ではなく共に学ぶ「教育寮」です。

「毎日」「一緒に」が生徒を学びに向かわせる

寮では毎日行う集団学習やASGセンターで「人と共に学ぶ」リビング・ラーニングの環境と、個々の能力や進度に合わせたアダプティブ・ラーニングのシステムを循環させながら学習習慣を身につけます。学校から先生が来寮し、夜の学習時間のサポートに当たるので、分からないところを1対1で指導を受けることもできます。教科学習以外にも指導を受けて英語ディベート大会へ出場したり、学校が管理する農園のお手伝いに参加するなど、人と共に学ぶことが勉強への前向きな姿勢を培うだけでなく、課外活動へと向かうモチベーション喚起にもつながっています。



「共に学ぶ」が「一人で学べる」を可能に



寮でのイベント

寮では晩礼と呼ばれる家族会議を頻繁に行います。これは学年や全体でも行い、寮生同士の意思疎通を図る大事な集まりです。学年で話し合い、スポーツ大会などのイベントを定期的に行っています。また1年間で新入生歓迎会や夏祭り、クリスマス会、卒業式など大きなイベントも生徒主体で行っています。



卒業生保護者の声

PARENT'S
VOICE

寮のある学校 - to be Gentleman -

首都圏での中学受験が過熱する中、我が家でも小学校低学年からの塾通いが始まりましました。が、学年が上がる毎に成績は下降、早めの反抗期も相まって家庭内紛争が度々勃発…そんな中、『寮のある学校』も視野に、親子で学校見学をしたことが懐かしく思います。

結果、第1志望ではなかった『静岡聖光学院 & 寮生活』を選んだのは、息子本人の希望でした。反抗期只中とはいっても、未だ幼い12才の息子が、家(親)から離れる選択をしたことは、中学受験を通して学んだ一番の成果だったかもしれません。

学校&寮生活では親の心配を他所に、楽しく元気に過ごしていたようです。何か問題が生じた時には、先生方の親身な対応と迅速な家庭への問題共有で、息子を前端的にサポートして頂きました。問題を乗り越える度に成長があり、先生方、友人との絆や信頼も深まっていったようです。

卒業式後の帰宅車中で『静岡聖光でよかったか?』と父親の問いに、『静岡聖光最高! 6年間、ありがとう〜』と息子の応え。そこには反抗期の可愛い少年ではなく、紳士的な誇りに思える息子が居りました。

2023年度卒業生 保護者の方より

寮の施設

全室冷暖房完備



居室

2人または4人の部屋で掃除や整理整頓など、協力しあいながら生活しています。



食堂

中学1年生から高校3年生までが、ここでいっしょに朝晩の食事をとっています。



ブレイルーム

集会、自主学習、イベントなどで、生徒や教員が活動するスペースです。



閲覧室

読書や映画鑑賞、ボードゲーム等、仲間と落ち着いて時間を過ごすスペースです。



TV室

学年問わず、寮内の生徒が集ってテレビや映画を鑑賞する空間です。



卓球場

中学寮で人気の卓球スペース。自然と多くの仲間が集まる場所です。



事務室

学校で言うところの職員室。生徒と教員が弟と兄(父)のように和気あいあいと過ごしています。



面談室

生徒と寮教員が、生活や学習、日頃の悩みなどを気軽に相談できる場です。

地の塩 世の光たれ

デジタル映像と情報が優先される現代社会においては、人々の関心を集め、喝采を浴びることの中にすべてがあると考えてしまいがちです。ともすると情報社会の中で評価されるものだけが、存在するものすべてだと思っている人すらいるかもしれません。これが価値あるものだ、美しいものだ、真実なものだと一方的に伝えられ、人々はそれを喝采をもって迎えます。喝采されるものが真であり、美であり、善であるという錯覚も生じます。若者は性急です。インスタントな文化や思想は、そのまま性急な若者に受け入れられます。若者は性急なるがゆえに脆弱です。

学校は時代を超えて生きる力を学ぶ場です。

キリスト教教育修士会によってこの小鹿の地に創立されて以来、私たち静岡聖光学院は男子中等教育を担う学び舎としての歩みを一貫して続けてきました。カトリック的世界観に基づく強靱な意志を持った、時代のリーダーたる若者を育成していくことは重要な教育目標です。

創立以来の校訓は「地の塩 世の光たれ」です。

塩は、味わいを添え、腐敗を防ぎ、汚れを清めるなくてはならない存在です。光は、闇にあって指針を示す道しるべです。その光を灯す人を口ウソクにたとえるならば、それは自分を削り、他者を助ける存在であるのです。これを仏教では「忘己利他」と言います。自分のことを忘れ、他の人々のために尽くせということです。宗教の違いがあってもめざす目標には共通性があります。

現状の世界では紛争、分裂、闇、憎しみが多くあります。傷つき、助けを求める人々がいます。この小鹿の丘ではぐくまれる「地の塩・世の光」である若者が期待されているのです。

その期待に応えることが静岡聖光学院の教育的使命です。



静岡聖光学院
中学校・高等学校

校長

工藤 誠一

沿革

1968年11月	静岡聖光学院中学校設置認可	2018年8月	創立50周年記念創造環境整備
1972年3月	静岡聖光学院高等学校設置認可	2018年8月	全教室冷暖房設備整備
1996年12月	チャペル 聖トマス・モア オラトワール完成	2020年2月	デジタル工房BIGRION-Garage整備
2003年11月	校舎耐震工事完了	2020年3月	体育館 トリニティアリーナ冷暖房設備整備
2015年3月	人工芝テニスコート整備	2020年9月	双方向ハイブリッド授業設備整備 (未来の教室プロジェクト)
2017年3月	人工芝グラウンド完成	2022年11月	静岡大学と中高大連携協定を締結
2017年3月	全教室ICT環境完備		

姉妹校

- 聖光学院中学校高等学校(横浜)
- セント・メリーズ・インターナショナル・スクール(東京)
- さゆり幼稚園(横浜)
- ジョン・ポール・カレッジ(オーストラリア)
- パンダン・ベイ・インスティテュート(フィリピン)

教育提携校

- マレー・カレッジ(マレーシア)
- バジラウッド・カレッジ(タイ)
- シラパオ・スクール(タイ)
- マン・チパスン(インドネシア)
- イートン・カレッジ(イギリス)
- ハロウ・スクール(イギリス)

2026年度入試

横浜・静岡会場

2025年11月22日[土]

帰国生入試

■ 帰国生入試

試験科目は英語1科目もしくは国語・算数の2科目からの選択です。またともに面接を実施します。面接について、英語1科目試験を選択した場合は英語と日本語、国語・算数2科目試験を選択した場合は日本語の面接となります。異文化の中で培われた、他文化・他者を理解する力。また、相手の意見を理解した上での建設的な発言ができる力を期待しています。

静岡会場

2026年1月10日[土]

午前 一般2科目／4科目
特待生入試

午後 英語1科目入試
BIGRION入試

2026年1月11日[日]

午前 得意科目入試(国・算)

午後 21世紀型入試

東京会場

2026年1月8日[木]

午前 一般2科目／4科目
特待生入試

■ 特待生入試

2科目型の入試で、一般入試に比べ難易度が高めとなっております。本校の特待生入試においては、優秀な成績で合格した生徒を特待生として、入学金や毎月の授業料を免除いたします。

■ BIGRION入試

社会や世界に対し幅広く興味を持ち、創造的な独自のユニークな視点をもって、世界を変える働きかけが出来る「論理性」「創造性」「表現力」を問う入試です。事前にプログラミング作品を提出し試験会場でプレゼン面接を行います。

■ 得意科目入試

国語・算数2科目を受験し、いずれか点数の高い方に重点を置いて加点したものをもとに可否を判断します。自分自身の得意な力を活かして伸ばし続けることを期待しています。得意な科目がある生徒はぜひ挑戦してください。

■ 21世紀型入試

本校への強い志望を持ち、自分の意見をつくり、それを他者と共有できる受験生を求めています。入試は志望理由書・個人ワーク(問題に対して自分の意見をまとめるなど)、協働ワーク(グループで課題解決を行う)で構成されています。